

先週の説教要旨

『成し遂げられた』井上隆晶牧師
詩編 69 : 14~22、ヨハネ 19 : 28~42

❶【王であるキリストと彼の王国を受け入れよう】キリストはこの日、子供のロバに乗ってエルサレムに王として入場しました。それは旧約聖書の「見よ、あなたの王が来る。彼は神に従い、勝利を与えられた者。高ぶることなく、ろばに乗って来る。雌ろばの子であるろばに乗って。」(ゼカリヤ 9 : 9) の預言の成就でした。群衆は喜んで勝利のしるしである棕櫚の枝を取り、自分の服を道に敷いて王であるキリストを迎え入れました。しかし一週間もしないうちに彼らは手のひらを返したように、この王を見捨て、地上のローマ皇帝を選んだのです。しかし、この日以来キリストの王国はこの地上に来ているのです。それは氷山の様に本国は天に隠れており、地上ではその国を慕い求めて礼拝する人々にその姿を現すのです。王なるキリストも、今は隠れています。やがて幾万の天使を引き連れてご自分の国に帰って来られます。地上の国々はやがて巻物の様に滅びますが、キリストの王国は永遠に続きます。その時、すべては明らかになり、私たちの労苦は実を結ぶことでしょう。私たちは今日、このキリストの王国を本国とし、王であるキリストに喜ばれることを行い、その方に認められるような僕になることを誓うのです。

❷【新しい神の家族の誕生と呪いの終わり】「イエスは母とそのそばにいる愛する弟子とを見て、母に『婦人よ、御覧なさい。あなたの子です』と言われた。それから弟子に言われた。『見なさい。あなたの母です。』その時から、この弟子はイエスの母を自分の家に引き取った。」(ヨハネ 19 : 26~27) イエス様は

母マリアに対して弟子のヨハネを「あなたの子です」といわれ、弟子のヨハネに対しては母マリアを「あなたの母です」と言われました。十字架の下で、キリストの言葉によってここに血肉によらない霊的な「新しい家族」が誕生したのが分かります。これは教会のひな形です。キリストによって生まれる新しい家族で、永遠に続く家族です。教会がなぜ「兄弟・姉妹」と呼ぶのかはそういう意味なのです。教会というのはキリストによって結ばれた人たちの群れです。だからキリストが小さくなってゆけば教会はバラバラになります。その反対にその人の中のキリストがどんどん大きくなれば、その教会は一つの身体の様になり、その結びつきは強いものとなり、家族のような温かいものになるでしょう。自分の中のキリストを大きくしてください。十字架は恐ろしく悲惨ですが、何か不思議な慰めを感じます。闇ではなく光を放っています。古いものの終わり、新しいものの始まりを告げています。イエス様の十字架を教会は「新しい命の木」と呼びました。十字架によって死は終わり、万物は命を吹き返したからです。十字架がすべての呪いを終わらせました。十字架は人間の苦難と死の中にしっかり立っています。十字架は神がそれらを共に負っていて下さる「しるし」です。十字架がそこに立っているなら、どんな地獄でも、そこはエデンの園へと変わるのです。

❸【血と水という命が全人類のために流れ出た】兵士が本当に死んだかどうかを確認しようと思ってイエス様を槍で刺しました。「兵士の一人が槍でイエスのわき腹を刺した。するとすぐ血と水が流れ出た。」(34 節) とあります。「彼らは、彼ら自らが刺し貫いた者である私を見つめ…」(ゼカリヤ 12 : 10) の成就です。医学的にはわき腹から血と水が流れ出るといのは心臓破裂の症状です。この水と血は洗礼と聖餐の秘蹟の象徴

週報

日本キリスト教団 都島教会

伝道所設立 1957 年 12 月 1 日 教会設立 2001 年 12 月 2 日
〒534-0012 大阪市都島区御幸町 2-6-17

TEL06-6922-1120 FAX06-6922-1120

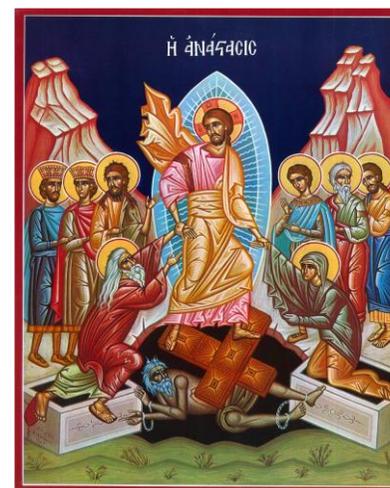
E メールアドレス : miyakoch@eagle.ocn.ne.jp

ホームページアドレス : <https://miyako.jima-church1.com>

郵便振替 00920-4-1442 日本基督教団都島伝道所

主任牧師 井上隆晶

2025年4月20日 No.1816



《キリスト復活》

《復活のあいさつ》

日本語 司祭「キリスト復活！」 会衆「実に、復活！」

英語 司祭「クライスト・ハズ・リズン！」
会衆「インディード・ヒーズ・リズン！」

ギリシア語 司祭「フリストス・アネスティ！」
会衆「アリソス・アネスティ！」